

トルコ地震 支援の輪が拡大

AMDA 現地へ出発

トルコ東部で23日に発生した大地震。死者は200人以上に及ぶ。国際医療NGO「AMDA(アムダ)」(本部・岡山市)の3人は24日、現地に向けて出発した。在日トルコ大使館には支援の申し出が相次いだ。

△本文記事1面▽

AMDAの3人は、福岡市の湊崎祐一さん(67)と神戸市の大類隼人さん(30)の2医師と、現地での調整にあたるトルコ国籍で大阪府在住のイユルデイス・アフメットさん(23)。両医師は同日夜、関西空港からイユルデイスさんとともに、イスタンブールへ向かう。大類さんは「発生から時間がたっておらず、がれきの下に埋もれた人がいるかもしれない」と救出への思いを語った。

東京都渋谷区のトルコ大使館には24日、「物資を送りたい」と東日本大震災で支援

を受けたお返しをしたい」などの問い合わせが相次いだ。同大使館は「まだ受け入れ態勢が整っていないが、申し出に感謝したい」という。